

エコニュース さって



第 7 5 号
平成 30 年 6 月 11 日
さって市民環境ネット
TEL 48-0331

平成 30 年度「さって市民環境ネット」活動計画一覧（※）

さって市民環境ネットでは、平成 30 年度の事業を次のとおり計画しております。

事業項目		開催時期	場所	備考
スタッフ定例会		毎月 1 回 原則第 3 水曜日 16:00~18:00	中央公民館	幸手市の 環境課と の連携や 協力をして実施
環境講座 開催	中川探検 ウォーク	4 月 21 日（土） 9:30~13:30	東公民館～ 宇和田公園	
	見学会	11 月頃	環境配慮企業等	
	野鳥観察	1 月末～2 月初め	中川流域他	
	座学と実践	3 月初め頃	中央公民館	
	ハウネンエ ビ観察	5 月 19 日（土） 9:30~12:00	西公民館と千塚団地 周辺の水田	
	学校出前 講座	5 月下旬 2 時限授業	幸手小	
腐葉土と野菜づくり の会		原則毎月第 3 日曜日午前	ひばりが丘桜泉園と 近隣の農園	
行幸湖の浮島づくり 「浮きウキフェスタ 30」		10 月頃の週末	権現堂公園管理事務所、 行幸湖	
エコライフ DAY 実施		7 月～8 月	学校他	
ゴーヤカーテン作り		5 月～9 月	南公民館	
中川流域、行幸湖の植 物、生き物、水質等の 観察		年間を通して随時	中川流域、行幸湖、他	
展示会	市民健康福 祉まつり	11 月 4 日（日）	ウエルス幸手	
	子育て応援 まつり	12 月 9 日（日）	ウエルス幸手	
「エコニュースさ って」発行		原則年 6 報	会員、学校、公共施設へ 配布	

※ 詳細は 2 か月前までに決まり、広報さって、アットホームニュース、エコニュースさって、公共施設への掲示等で参加募集を行います。

第4回市民環境講座

報告：坂本

平成 30 年 3 月 3 日（土）、幸手市中央公民館にて午後 1 時 30 分から 4 時にかけて、平成 29 年度の 4 回目となる市民環境講座が行われました。参加者は市民 6 名、スタッフ 6 名、環境課の職員 2 名の計 14 名です。この講座は第一部と第二部に分かれていまして、その概要は次のとおりです。

— 第一部 外・アツカミナリによる被害防止に関する講座 —

講師 埼玉県環境科学国際センター農学博士の三輪 誠氏

中国大陸や朝鮮半島に生息しているクマやカキリが輸入木材や梱包木材を通じて日本に侵入しています。2012年に愛知県で確認され、埼玉県でも2013年に確認されています。本県での侵入状況は、2017年末現在で、草加、越谷、県北では熊谷、行田、羽生、加須まできています。決定的な防止策がなく、このままでは、幸手に来るのも時間の問題というところです。

被害となる樹木はバラ科に属するもので、その代表はサクラです。クハツカミリの幼虫がサクラの樹木に侵入し、内部の組織を食べ、2、3年かけて成虫になります。その頃には樹木が枯れてしまう。天敵がいないため、増える一方です。

防除の仕方は、春から秋にかけて樹木の根本にフラス（フンと木屑の混ざったもの）があった場合、樹木の穴に針金を差し込み刺殺します。



体長は2 cm～4 cm。左がオス、右がメス。



樹木内部とクビアカツヤカミキリの幼虫

または、農薬で殺傷します。ただし、幼虫が奥にいた場合には、この方法は上手くいかない。羽化する期間は、6月から8月なので、その前に樹木にネットを巻きつけ、羽化して出てきた成虫を見つけ殺傷する方法もあります。かなり手間のかかる作業です。

講師の話聞き、これは幸手にとって大きな事件です。幸手にとってサクラは貴重な観光資源です。このため、危機意識をもち、クバカツがサクラ侵入を防ぐため、多くの市民に呼びかけ、行政と市民が一体となって取り組む課題です。

－ 第二部 お庭の楽々草取り講座 －

講師 さって市民環境ネットの唐澤知枝子さん

草取りをするには、3つのポイントがあります。

一つ目のポイントは草取りのタイミングです。天気予報をチェックして、雨上がりで、地面の水溜りがなくなった頃が土が柔らかく草を根っこごと抜きやすい。道具を使わなくても手で簡単に作業ができます。雨上がりのタイミングを逃したときは水撒きをしてから取り掛かります。

二つ目のポイントは服装です。夏でも長袖、長ズボン、首にタオル。手袋、帽子は必須。履きなれた靴（長靴はなお良い）。腰には携帯用の蚊取り線香。顔には日焼け止めのクリーム。日陰を確保し、熱中症対策のための水分補給。涼しい朝や夕方に作業をする。休憩タイムには、気分よく作業を続けるために好きな飲み物とチョコレートや飴を用意しましょう。



スライドを使い説明する唐澤講師

三つ目のポイントは、草は小さいうちに取る習慣を。一度丁寧に抜いた後でも、雑草の多くは前年度の秋ごろまでに咲いた花の種が土の中で冬を越し、翌年の春に芽吹きます。草は丈が伸びない早いうちに抜く習慣をつけましょう。芽を出した草が根付かないうちに抜けば、

簡単に抜け、種もこぼれず2年後には、我が家の庭が自慢の庭になります。

講師の話聞き、草取りは単純作業ではないということに気付きました。緻密に計算尽くされ、科学的な作業です。万端の準備をし、その行動の一つ一つが、無駄のない理論に裏付けられています。そう思うと、この科学的な作業をやってみたいと思えてきました。

平成30年度 第1回幸手市民環境講座

「中川探検ウォーク」～さくらあれこれ、宇和田公園について

講師：NPO 法人とよあしはら 山本裕隆氏

報告：澤村

平成30年4月21日（土）晴、夏日、於；東公民館、参加者13名。



エノキの大樹と寄せ木

東公民館を出発し、中川遊歩道「ふれあい散策路」を通り、草花、野鳥、川を泳ぐ鯉などを見ながら宇和田公園に向いました。途中、川沿いに、大きな樹（エノキ）何本もあり、その周りに何種類もの小さな木が生えていました。山本講師の説明では、エノキは川の水で運ばれた種が育ち樹となり、その樹の実を鳥が食べに集まり、鳥がするフンの中にある他の木の種から生えた「鳥が植えた木」とのことでした。生態系の自然の一摂理と思いました。公園の間を流れる中川の門樋（かけどい）では急流を上る80cm位の大きな鯉を見ることができました。公園では、講師から「さくらあれこれ」について

詳しい説明がありました。日本の桜の祖先は、ヒマラヤ桜で中国雲南省～ネパールの温暖なところで、本来は 11 月頃咲く常緑樹であったそうですが、日本に移植されて、厳寒期に落葉&冬眠し、春に開花することで日本の風土に根づくことができた。因みに、10 月桜や冬桜は先祖返り現象と考えられているとのこと。また、日本のソメイヨシノは 50 年～70 年で下り坂となり、病気にも弱いので、現在、新たな品種が検討されているそうです。更に、前号で報告しましたが幸手市にも近づきつつあるクビアカツヤカミキリによる被害がないことを願いたいこと、最近、紀伊熊野で 100 年ぶりに桜の新種熊野桜（クマノザクラ）が発見されたことも話題になりました。

なお、一昨年講師に持参して頂き、宇和田公園設立 99 周年記念植樹したヒマラヤ桜は、7 年目頃に開花するとのことで、4 年目の苗を移植しましたので来年の秋には花が見られるだろうとのことで大変楽しみにしています。



来秋は開花するヒマラヤさくらとともに！

公園では、スタッフと講師から幸手の郷土誌に基づき、中川の誕生と宇和田公園について詳しい話がありました。宇和田公園は、日本の公園（日比谷公園、明治神宮神苑、大宮公園など全国各地の国立公園や風景地）の父と言われている本多静六林学博士が設計されました。本多静六博士は久喜市菖蒲町生まれで母親が幸手市上吉羽轡瀬

（くつわぜ）の金子家生れでしたので、宇

和田公園を設計に携わったものと思われます。博士は 9 歳で父を亡くし、経済的に苦学して東京大学に進学して、その後、ドイツに留学して多くのことを学び、林業から木材を木財とし、防雪林、水源林、鉄道枕木などに活用しました。また山本講師から「本多博士は、自然の生態系の維持のためには、放置でなくてある程度人の関与が必要である」強調されたこと、参加者の中から、博士は、本来経済学者で日本の経済発展にも大きな貢献されたこと、更に、東京大学を退官後、自身の財産をほとんど寄付して奨学金制度を創設に、埼玉県では寄付された秩父の山林の収益を基に「本多静六博士育英事業」が行われているなどを知り、多くの勉強をすることができました。

今回は、新たに宇和田公園にある記念の石碑について勉強しました。中川誕生の工事記念碑、河川の改修や水害に関する多くの古い石碑が「移築」されていました。すなわち、庄内古川改修記念碑（昭和 3 年建立）、庄内古川門樋碑（明治 24 年建立の碑を再建）、水害復舊記念之碑（昭和 24 年建立）、江戸川新陽記碑（明治 27 年建立、題字は埼玉県知事、千家尊福）、重修権現堂大堤碑（明治 27 年建立、題字は板垣退助）、土地改良区連合解散之碑（平成 1 年建立）があります。

参加者数は少なかったですが、幸手郷土史、石碑文字などについてモノ識人が多くて話が盛り上がり大変楽しい講座となりました。最後の感想では、散策コースとして素晴らしい、街の人はもっと知って欲しい、来年も参加したいので開催して欲しいなど参加者からの声がありました。

【会員募集中！】環境保全活動と一緒にやっていただく方を募集しております。是非、貴方も参加しませんか。〔さって市民環境ネット〕★問い合わせ先；久保田 修（代表）まで TEL 0480-42-1264

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっとわーく、いきがい・はなみずきの会（いきがい大学伊奈学園 20 期）